

# 申4号 2018度冬期対策について団体交渉終了!

11月9日、2018度冬期対策について、現場から上げられた声に基づき団体交渉をおこないました。提案内容と主な交渉議論は以下の通りです。

2018年度は**12月1日より3月10日までを冬期期間**として、全箇所及びグループ会社等が一体となり取り組む。必要の都度、投排雪保守用車等を運転するほか、融雪装置の新設・増強、副本線を発着する列車の主本線への変更、冬期間の駅通過や冬期要員の配置等により、安全で安定した輸送サービスをお客さまへ提供する。

## 1. 融雪装置の新設・増設箇所

・電気融雪マット新設⇒追分、浪岡、大釈迦(3構内) ・エアージェット⇒大曲駅構内(21号口)

組)横手駅構内174号ポイントは電熱式マット設置されていても不転換が発生する。何か対策はあるか?

会)ウェザー情報を活用しながら予防・集中除雪をG会社一体となっておこなう。

会)雪が溜まれば、運輸区やCSPから早めに要請してもらい保線からG会社に除雪をしてもらうことが可能である。

(※横手駅だけでなく全ての構内でヤード除雪が可能)

組)横手駅構内175号ポイントは投排雪保守用車の押し出した雪により不転換が発生するので融雪マットを延長すべき。

会)投排雪のフランジャー改良や、ロータリーを回しながら出区している。マットの長さや距離、電気をどこから引くか、器具箱設置等あり簡単ではない。

組)弘前駅構内、上り2番線は積雪により起動できない事象が発生している。融雪マット設置すべき。

会)冬期振り返りで職場からも要望として上がってきているが、融雪装置の考え方は優先順位をつけて計画的におこなっている。優先すべき件名があり、すぐに改善とはならないが、声があるのは受け止め現場とも話をしていく。

## 2. 着発線変更等 ※12/1~3/31

・昨年実施した(副本線を発着する列車の主本線への変更)横堀駅、十文字駅、後三年駅、北常盤駅、大釈迦駅は継続して実施し、新たに二ツ井駅、碓ヶ関駅、大鰐温泉駅、石川駅の各駅の副本線を発着する列車の主本線への変更

・津軽湯の沢駅は全列車が通過(平石駅、矢美津駅は継続して実施)

組)昨年新たに北常盤駅、大釈迦駅の副本線の着発を本線に変更し問題点はないか?

会)冬期の振り返りをしたが、ポイント不転換のリスクもなく安定性が向上した。

組)碓ヶ関駅での折り返し列車についてはどうなるのか? 中線の除雪は?

会)通常通り折り返し運転。上り列車は中線使用。下り列車は中線使用しない。除雪はこれまで通りに行いMCRも入る。

組)ワンマン車内放送については? 会)ワンマン放送のROM変更。運転士が到着線変更について放送することはない。

組)津軽湯の沢は積雪が多い。ホーム等から線路へ雪が落ち通過列車と衝突ということにならないように、駅のホーム除雪をおこなうべき。 会)検討中である。

## 3. 冬期間の要員体制について

箇所名	期間	勤務種別	箇所名	期間	勤務種別
湯沢駅	12/1~3/10	交代1・変10-2	大曲駅	12/1~3/10	交代1
秋田駅(輸送)	12/20~3/10	交代1	田沢湖駅		交代1
角館駅	12/1~3/10	交代1	横手運輸区		変7H-1(輸送)・交代3(車両)
大館運輸区	12/20~3/10	交代2(車両)	秋田車両センター	12/20~3/10	*変7H-1、15・交代1
		<b>休日出面</b>			<b>休日出面</b>
大曲保線技術センター (横手Ac含む)	12/1~3/10	管理1・一般7 出面2	秋田保線技術センター	12/1~3/10	管理1・一般7
東能代保線技術センター (大館派出含む)		半数程度	弘前保線技術センター		半数程度
羽後本荘保線技術センター		管理1・一般6	秋田土木技術センター (弘前派出含む)		12/1~3/31
秋田電力技術センター (メンテナンスセンター含む)		管理1・一般1 出面2	秋田信号通信技術センター (メンテナンスセンター含む)	12/1~3/10	管理1・一般2 出面2
運輸部輸送課指令室		12/20~3/10	交代18・変7H-1、4・*変7H-1、2		設備部建築設備センター
			設備部機械設備センター	出面2	